

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年09月30日

計画の名称	大野市における水の循環の実現（その2）											
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	大野市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,752	A	1,752	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道処理人口普及率を40%（H28）から46%（H29）にする。 下水道処理人口普及率 処理人口（人） / 行政人口（人）（H27末:34500人）	40%	46%	46%
2	下水道施設のストックマネジメント計画策定率を0%（H30当初）から100%（H32）に向上させる。 ストックマネジメント策定率 策定済みストックマネジメント計画数（計画） / 策定すべきストックマネジメント計画数（1計画）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大野市	直接	大野市	管渠(汚水)	新設	中央・赤根・真名川幹線 枝線整備(未普及対策)	150~300 L=20km (設計含む)	大野市						1,530	-	
	A07-002	下水道	一般	大野市	直接	大野市	終末処理場	新設	大野市下水処理センター	自家用発電機(設計含む)	大野市							180	-
	A07-003	下水道	一般	大野市	直接	大野市	終末処理場	改築	大野市下水処理センター 、管路施設	下水道ストックマネジメント 計画策定、ポンプ更新等(設計含む)	大野市							42	未策定
		S M計画																	
	小計																	1,752	
	合計																	1,752	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い、事後評価を実施	令和2年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理人口の普及率については、計画的に整備が進められたことで普及率も高まり、より快適な暮らし環境を創造できた。 ・ストックマネジメント計画を策定したことで、今後の維持管理や経理計画に役立てることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も計画的に下水道整備を進め、下水道処理人口の普及率を高めることで、より快適な暮らし環境を目指す。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	46%
	最終実績値	48%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

事業費削減に努めて整備を行うことができたため